

新宿御苑における桜の名称の基本的な考え方

植物分類学をベースとするが、栽培品種名と新宿御苑の導入名が異なる場合は、新宿御苑で用いられてきた導入名を優先するものとする。

導入名を用いるのが適切でない場合は、形質・DNA分析で判明した名称を用いるが、複数の候補がある場合には、新宿御苑での導入経緯や歴史、来園者に分かりやすいなどの利用価値を優先して判断するものとする。また、今後、新たな調査研究成果が示される等名称が不適当と判断された場合は、内容を確認し対応を検討するものとする。

優先順位① 導入名

※現在の個体との照合が可能な1990年（h2）リストの名称を導入名とする

1. 導入名を用いる
・ 導入名と形質が一致する場合
2. 導入名を用いるのが適切でない
・ 導入名とは形質が異なる場合
・ 導入名が不明確な場合
・ 導入名が誤りであることが判明した場合 など

優先順位② 形質・DNA分析で判明した名称

複数の候補がある場合に重視する事項
○新宿御苑での導入経緯・歴史を優先して判断する。
○来園者に分かりやすいなどの人の利用価値を考慮して判断する。

- 形質から判明した名称を用いる
- DNA分析で判明した名称を用いる
- 適切な名称がない場合は「不明」とする